

道写協 札幌支部だより

北海道写真協会札幌支部
札幌市中央区大通西3丁目6
道新文化事業社内
011-241-5161
<http://www.doshakyo.org/sapporo>

札幌支部写真展

2023年3月16日(木) ~ 3月21日(火)
道新ぎやらりー

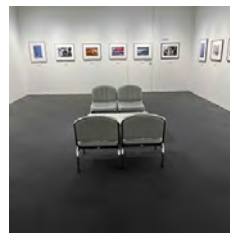


道写協や当支部のPRとともに新会員募集にもつながる支部写真展は、コロナに関わるマスクや記帳の制限はなかったがやはりまだ影響があるのか、来場者数は昨年とほぼ同様の385名。出品者数も会員数の減少と共に年々減ってきており、今年度は39作品（一般展示は特別会員11名、一般会員24名）でありました。年度賞上位3名による作品やポスター原画を大きく延ばしての展示は迫力もあり、来場者に大変好評。



今後の課題として、展示会場も変更になることから外向けの発信（取材依頼等）を強化する、一般来場者を迎え講師による特別月例会など開催の工夫が必要と感じました。

(支部写真展当番記録から)



撮影会ご案内

7/2 (日)

コロナ禍で数年間中止になっていたモデル撮影会を、満を持して開催することといたしました。令和1年7月以来の開催です。場所は、「札幌芸術の森」。参加は、事前申し込み必須で、QRコードから、またはハガキによる申し込みとなります。詳しくはチラシをご覧ください。夏空の下、仲間で撮影ができる良い機会です。楽しみましょう。



第45回札幌支部撮影会【北海道開拓の村】コンテスト
推薦作品 今明美さん「やさしく輝いて」

第70回記念写真道展

【第一部（自由）】 三席 「飛び立て青春」

【第二部（観光・産業）】 三席 「虹色」

「2部門 3席を受賞して」

新人の吉野友昭と申します。
北広島高校の写真部顧問をしています。
写真を初めて7年弱になります。
ある写真教室で写真を教えてもらい
別の教室で生徒の写真批評をしてもらい
写真の基礎を学んでいました。



吉野友昭さん

最近ハマっているのは「写真集」を読み解くことです。

札幌情報館などで
よく読んでいます。

どうしてこの写真が入っているのか等、解けないパズルを解いています。
以前は、きれいな写真やSNSにあがる目を引く写真を撮ろうとしていましたが、
今は少し変わって来たかもしれません。

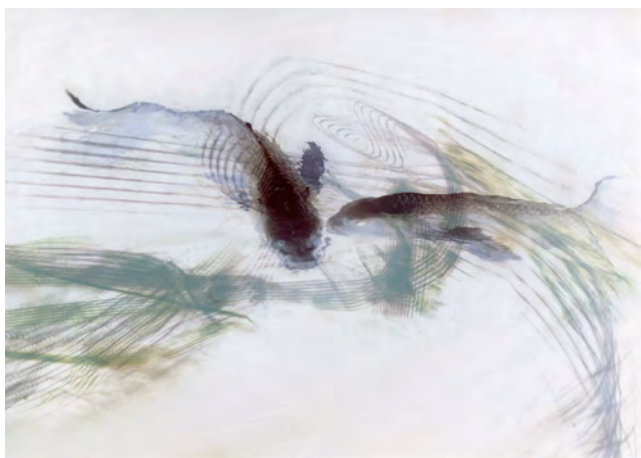
道写協に入れていただき、諸先輩の素晴らしい写真を見ることができ
また毎回異なる審査員の先生やプロ写真家の批評を聞けることは大変
興味深いです。まだ入会して半年程度ですが、写真の見方は広がってきています。
そのお陰があり2部門で3席を頂くことができました。

深く感謝いたします。

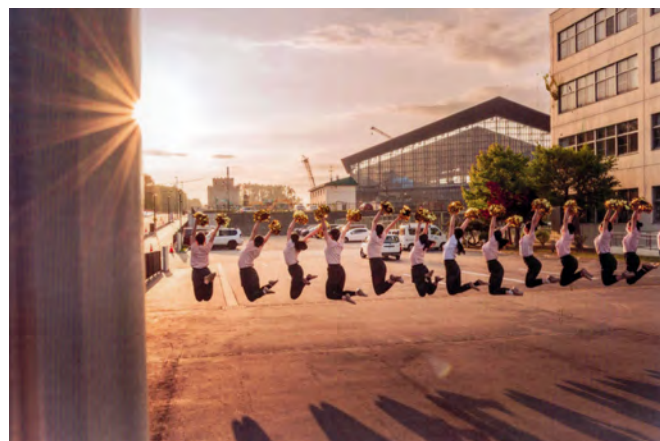
(3部門の入賞・入選)



第二部 三席 「虹色」



第一部 三席 「風の旋律」



第一部 三席 「飛び立て青春」

【第一部（自由）】 三席 「風の旋律」



高橋あや子さん

札幌支部へ入会し二年過ぎました。

皆様の写真を拝見し、構図・露出等のカメラ知識
そして場所の情報把握の大切さを感じています。

ネイチャー写真は好きなのですが、私にはまだ
及びません。私はまた多重、合成、パソコンでの
絵作りも好きです。以前、それらは写真とは言えず
邪道と指摘されましたが、写真道展第一部は自由で

画像の加工は可とありますので、思いのままにイメージを膨らます
事ができます。

主人の介護のため撮影、支部月例会へは欠席がしばらく続きますが
いつも手元にカメラを置いて、イメージをたくさん頭の中に浮かべ
次の機会に備えたいと思います。

この度 思いがけず、三席の通知が届きびっくりしました。
何度も見直し、確認し、じわじわと嬉しさが込み上げて来ました。
そして励みにもなりました。

心よりお礼を申し上げます。

【第三部 (ネイチャーフォト)】三席 「うるさくしないで」



粟木敦子さん

亡父の影響で写真を撮り始めてから3年程になります。
仕事柄、支部の月例会になかなか参加が叶わず、申し訳なく思う日々を過ごしておりました。
そのような折、この度の受賞は本当に身に余る光栄です。



第三部 三席 「うるさくしないで」

この写真は根室市野付半島で撮影しました。
壊れて陸に置かれている漁船の上で眠るキツネを見つけました。
車が通ったり、カラスが煩く鳴いたりする中、何度も体勢を変えて寝ていました。流石に鹿の群れが近づいた時には起きてしまうのではないかとおりましたが、煩そうに顔を顰めて眠り続けます。
その姿が何とも可愛らしく走り去る鹿の後ろ姿とともに写真に収めました。
これからもコツコツと写真を撮り続け、日々精進していきます。
皆様ご指導宜しく申し上げます。

【会友奨励賞】 「母への思い」



難波江さん

今回、出展作品が会友奨励賞という予期せぬ評価をいただき、大変嬉しく、また、長年支えてくれた師や友への感謝の気持ちで一杯です。

受賞作品は、昨年夏円山公園での「伝説の大道芸人」といわれるギリヤーク尼ヶ崎さん（九十一歳）の青空舞踏公演「魂の踊り」から切り取った一枚で

「これで終わるわけにはいかない」と病を押して車イスで登場、不自由な体にムチ打ち必死に踊り、母への感謝を演ずる姿は痛々しく、哀愁を感じ、同世代を生きた自身（八十八歳）の過去や亡き母への想いを勝手に重ね合わせ、複雑な思いでシャッタを切りました。



会友奨励賞 「母への思い」

生涯現役を貫こうとする芸人魂に幸多き事を祈り、自身も健康に留意し、体力の許す限り、生涯、大好きな写真を撮り続けたいと思っています。

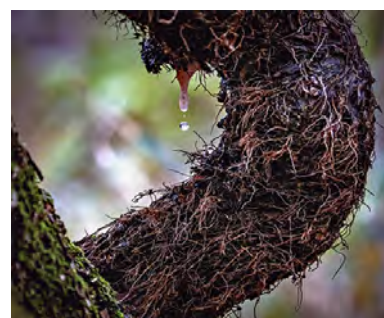
< 三部門で入選の喜びの声 >

この度の入選の知らせに、大変嬉しく、また有り難く思っております。特に第三部の樹液の写真は、滴る樹液とボケの背景がうまく写せず、現地に何度も通い、色々と模索しながら写した作品です。

これからも楽しく体力の続く限り、写真に挑戦していきたいと思っております。



梅澤勇二さん



第三部 入選 「樹液一滴 森の力」

<写真道展 入選者・入選作品名>

入賞 3名 4作品 入選 11名 17作品
3部門入賞・入選 2名

敬称略

第一部(自由) 7名

飯高光紀 「満足げな帰路」
板垣 功 「クリスタルタイム」
梅澤勇二 「私の右足首」
見野則幸 「モエレ山の月」
林 繁造 「月下のモルゲンロート」
副馬雅之 「まなざし」
松本雅彦 「共に」

第二部(観光・産業) 3名

梅澤勇二 「祭りの朝」
落合英男 「明かりを灯して」
松本雅彦 「花咲く冬」

第三部(ネイチャーフォト) 7名

板垣 功 「夕陽物語り」
梅澤勇二 「樹液一滴森のちから」
片岡真弓 「サギのわかれ」
見野則幸 「激突の時」
高橋あや子 「やさしい時間」
副馬雅之 「取ったな、こいつら」
吉野友昭 「紅彩」

令和4年度 月例会

1位 林 繁造 2位 飯高光紀
3位 見野則幸 4位 落合英男
5位 梅澤勇二

新人賞 吉野友昭

<年度賞1位コメント>

月例会の新たな視点の作品に刺激を受け、講評に一喜一憂。ガレ場で転びフィルター割っても怪我をせず、コロナには注意を払い、風邪はここ数年罹らず、ストレス適度の当支部の役務で少し活性化するなど。周り方々に助け守られながら月例会にフル出席できたことが、好成績につながったかと思います。すべてに感謝しています。この三年間程は、コロナ感染症やヒグマの出没&体力の低下もあって、野山や海での星空撮影は少なくなりましたが、今しばらくは道写協札幌支部に在しながらカメラライフを続ける予定です。皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

林 繁造

< 3月 野勢 英樹 特別講師 >



1位 梅澤勇二
「銀色の靴」

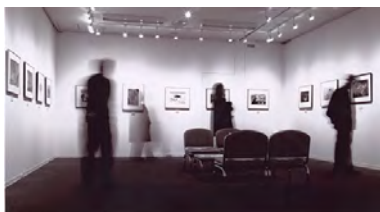


2位 見野則幸
「元気な農村」

雨の情景もよく、ミステリアスなところが良い

笑顔がよいですね。タイトルの通りで良い作品

< 4月 中野 潤子 特別会員 >



1位 脇田健司
「影たちの展覧会」



2位 林 繁造
「撮影日より」

おもしろい。モノクロなのが良い。斬新な発想です

構図、特に雲と湖上の二人のバランスが良い、発色も良い

< 5月 経塚 剛敏 特別会員 >



1位 林 繁造
「さわりたい！」



2位 板垣 功
「クリスタルタイム」

肖像権問題があり撮影が難しい中、子供の動きをよく捉えている。

生活感が有り、写真が安定している
(道展入選作品)

< 6月 長谷川純一 特別講師 >

1位 脇田健司
「御祈祷の狭間」

構成、シャッターチャンス、タイトルが良い

2位 浦崎毅子
「静かな夕暮れ」

何気なく通り過ぎてしまう景色にも眼差しを向ける感性がよい

< 7月 加賀谷重雄 特別会員 >

1位 林 繁造
「招かざる客」

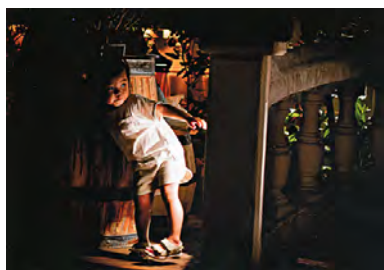
レンズ選定がよく、家の灯りと横に走る難しい稲光を良く捉えている

2位 寺嶋昭三
「赤ふんで失礼します」

お尻とマスクよさこいがバランス良く写っている。今現在が写真に写っている

< 8月 新型コロナ感染拡大防止のため中止 >

< 9月 山本隆晟 特別会員 >

1位 副馬雅之
「ん？」

女の子のキョトンとした表情がバックの明暗差により引き立っている (道展入選作品)

2位 飯高光紀
「過行く夏」

彩度を抑え背景の看板などが整理され、光と影が際立った

< 10月 小森 学 特別講師 >

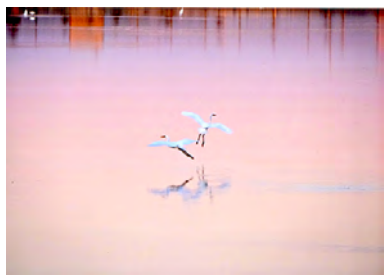
1位 片岡眞弓
「満月」

そこに鳥類達の営み、月との繋がりを感じる、想像性について作品を通じて教えてもらった

2位 見野則幸
「モエレ山の十三夜」

良い場面を撮りました。手前のうっすらとした白い道がまた良い

< 11月 武藤 省吾 特別会員 >



1位 片岡真弓
「わかれ」

2羽の飛翔姿、色合い、シャッターチャンスが良かった
(道展入選作品)



2位 板垣 功
「石狩湾の夕陽」

夕陽の光が木に当たり、光とその影が良かった
(道展入選作品)

< 12月 山下 智 特別会員 >



1位 飯高光紀
「赤い主張」

白黒に赤が際立ち右にずらしたことで広がりを感じる



2位 米澤三千代
「斜陽に照らされて」

画題のとおり、狙ったところがしっかり撮れている

< 1月 山本純一 特別講師 >



1位 林 繁造
「小雪舞う街を」

雪舞う交差点を歩く主役と背の高い脇役の捉え方が良い。題名もマッチしている



2位 見野則幸
「夜空のランタン」

ピントは夜空に舞い上がるランタンに当てているが青いコートの女の子が印象的である

令和5年予定表 (6月以降)

令和5年 予定表 (6月以降)		
月 日	事 業 内 容	会友作品披露他
6/16 (金)	例会 長谷川純一 特別講師 7F特別会議室	撮影会に向けた講話
7/2 (日)	モデル撮影会 札幌芸術の森	
7/21 (金)	例会 加賀谷重雄 特別会員 7F特別会議室	写真についての講話
8/18 (金)	例会 山下 智 特別会員 7F特別会議室	写真についての講話
9/15 (金)	撮影会コンテスト表彰式	
	例会 山本隆晟 特別会員 7F特別会議室	写真についての講話
10/20 (金)	例会 小森 学 特別講師 7F特別会議室	写真についての講話
11/17 (金)	例会 山本純一 特別講師 7F特別会議室	写真についての講話
12/15 (金)	例会 岸本日出雄 特別講師 7F特別会議室	写真についての講話
24/1/19 (金)	例会 香取征子 特別会員 7F特別会議室	写真についての講話



会員拡大にご協力下さい。仲間を誘いましょう。希望者には道写協札幌支部のホームページをすすめてください。申込書もダウンロードできます。

入会歓迎

優れた作品を数多く見ることが出来るのがこの会の特徴です。月例会成績は道新札幌圏版に掲載され、知人友人からの反響が寄せられたりします。

ホームページ URL <http://www.doshakyo.org/sapporo/>「検索」

道写協

